

Contents

はじめに—第6版改訂にあたって
Founding Editorからのメッセージ

第1章

公衆衛生看護学概論

1 公衆衛生看護学とは

1 公衆衛生看護学の概念

1 予防と公衆衛生看護 4

(1) 予防の概念 (2) ウィンスロウによる公衆衛生の定義 (3) 公衆衛生看護の定義と役割

2 公衆衛生看護活動とは 6

(1) 地域とコミュニティ (2) 保健師と公衆衛生看護活動

3 地域保健活動の場と対象 8

(1) 生活 (2) 家族 (3) 集団 (4) 環境

4 健康とは何か 12

(1) WHOの定義と日本国憲法第25条 (2) 近代化がもたらした「公衆衛生」と「健康」の概念 (3) 現代の「健康」の概念 (4) 生活の質

2 ヘルスプロモーション

1 プライマリヘルスケア 14

(1) アルマアタ宣言 (2) プライマリヘルスケアの理念

2 ヘルスプロモーションと「健康日本21」 15

(1) オタワ憲章とジャカルタ宣言 (2) ヘルスプロモーションの理念と戦略 (3) ヘルスプロモーション戦略のグローバル化 (4) 「健康日本21」にみるヘルスプロモーションの理念 (5) 「健康日本21」の成果

3 ハイリスケアアプローチとポピュレーションアプローチ 18

4 ヘルスプロモーションを支えるキーワード 19

(1) パートナースHIPと住民参加 (2) アドボカシーと権利擁護 (3) 自立支援・自己決定

3 公衆衛生看護の歴史

1 公衆衛生看護の始まり 22

2 わが国の公衆衛生看護の始まり 23

(1) 訪問看護から始まった公衆衛生看護の活動

(2) 公設産婆による訪問看護活動の始まり
(3) 関東大震災を機に拡大したわが国の公衆衛生看護活動

3 わが国特有の公衆衛生看護活動体制の礎 24

(1) 公的機関による母子保健対策 (2) 東京、聖路加国際病院における公衆衛生看護活動 (3) 大阪朝日新聞社会事業団公衆衛生訪問婦協会の活動 (4) 農村における公衆衛生看護活動

4 保健婦の業務の確立 26

(1) 保健所法制定 (2) 厚生省設置 (3) 保健婦規則制定 (4) 保健婦業務の確立

5 第二次世界大戦後の公衆衛生看護活動 28

(1) 保健婦助産婦看護婦法制定 (2) 保健婦の配置と活動の体制——保健所における保健婦活動 (3) 保健婦の配置と活動の体制——国民健康保険保健婦 (4) 保健婦の配置と活動の体制——駐在保健婦 (5) 保健婦の配置と活動の体制——開拓保健婦 (6) 沖縄における公衆衛生看護婦の活動

6 経済発展期における公衆衛生看護活動 30

(1) 保健所と市町村における保健婦活動の体制確立と充実 (2) 健康問題の変化と保健婦活動——感染症対策から成人病対策へ健康問題の変遷 (3) 老人保健法と保健婦の活動 (4) 地域保健法と保健婦の活動 (5) ライフステージに対応した公衆衛生看護活動 (6) 広範な分野にわたる公衆衛生看護活動

7 高齢社会と国際化社会における保健師の活動 37

(1) 新たな保健師活動への指針 (2) 国際化と保健師活動

8 保健師教育の歴史 38

(1) 萌芽期の保健婦教育 (2) 保健婦規則制定後から第二次世界大戦終戦までの保健婦教育 (3) 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則制定後の保健婦教育 (4) 1年制の公立保健婦養成所を中心とした保健婦養成 (5) 大学教育を中心とした保健師教育 (6) これからの保健師教育

4 保健師と公衆衛生看護活動

1 公衆衛生看護活動の視点 46

2 保健師の活動モデル 46

5 公衆衛生看護活動の場、活動内容

1 保健師の活動の場の拡大 48

2 保健師による公衆衛生看護活動 49

	(1) 一次予防、二次予防、三次予防 (2) 活動の事業化・施策化 (3) 保健師業務の内訳	
3	保健師の活動の対象は個人・家族、 集団そして地域全体	51
6	保健師が行う活動の方法と選定	
1	保健師が行う活動の特徴	52
2	保健師の活動展開過程と活動方法	53
	(1) 保健師の活動展開過程 (2) 保健師の活動方法	
3	活動方法の選択	54
7	保健師の活動と倫理	56
II	公衆衛生看護活動に関連する 背景・領域	
1	保健医療福祉システム	
1	衛生行政制度	57
	(1) 一般衛生行政の組織と活動 (2) 産業保健行政(労働衛生行政) (3) 学校保健行政 (4) 環境保健行政	
2	社会保障制度	63
	(1) わが国における社会保障制度の体系 (2) 社会保障の内容 (3) 社会保障の方法	
3	公衆衛生看護と法体系	64
	(1) 地域保健に関するお主な法律	
2	社会環境の変化と健康課題	
1	社会情勢の変遷	67
	(1) 人口構造の変化 (2) 死因と疾病構造の変化 (3) 経済・産業構造の変化 (4) 女性の社会参加 (5) 地域社会の変化 (6) 多文化共生社会・グローバル化と保健師活動	
2	生活と健康	76
	(1) 結婚観・家庭観の変化 (2) 家族形態の変化 (3) 働き方の多様化 (4) 生活環境(公害・環境汚染) (5) 社会病理	
3	医療経済と保健活動	
1	社会経済環境の動向	82
	(1) 人口構造の変化 (2) 国民医療費の動向	
2	経済学的側面からみた保健活動	85
	(1) 経済学的視点からの資源配分 (2) 公平性と効率性 (3) 保健活動の経済的な評価方法	
3	データヘルス計画に基づく保健事業 の実施	87
	(1) データヘルス計画 (2) 効果的・効率的な保健活動	
4	ICTと保健活動	
1	ICTとは何か	89
2	日本のデジタル化政策の変遷	89
3	保健医療福祉でのICTにかかわる施策 ーデータヘルス改革	90
	(1) 保健医療プラットフォームの活用(データヘルス) (2) パーソナルヘルスレコード(PHR)の活用 (3) オンライン資格確認	
4	保健サービスに関係するICTと その活用	90
	(1) デジタル教材の作成可能性の拡大と活用 (2) 双方向でのコミュニケーションが可能な通信媒体の活用 (3) ウェアラブル端末の普及と活用 (4) バーチャルリアリティ技術の活用	
5	公衆衛生看護活動でのICT活用例	91
	(1) 個人の健康情報の活用 (2) 効果的な教育媒体の活用 (3) 対面での指導や交流が困難な状況における活用 (4) 仲間づくりの支援への活用 (5) 多数の人へ情報を発信する場合の活用 (6) 情報収集・意見交換などでの活用	
6	保健師に求められるICT活用時の 留意点	92
	(1) 安心と安全に基づくセキュリティ対策 (2) 住民の情報リテラシー向上の取組みの必要性 (3) ICT弱者への配慮 (4) 個人の権利への配慮	
7	今後の保健師活動とICTの活用	93
5	保健行動と保健活動	
1	保健行動とは	94
	(1) 保健行動の定義 (2) 保健行動のとらえ方	
2	保健行動を支援する保健活動とは	95
	(1) 行動に着目する意義 (2) 行動変容アプローチの基本姿勢 (3) 行動に関する基本的な理論 (4) 行動技法	
3	保健行動に関する理論	98
	(1) 保健信念モデル(ヘルスピリーフモデル) (2) 計画的行動理論 (3) 社会的学習理論(社会的認知理論) (4) トランスセオレティカルモデル(行動変容ステージモデル)	
4	保健行動の変容を支援するために	101
	(1) 良い関係性・コミュニケーションを保つ (2) 対象者の状態に応じたコミュニケーションをする (3) 問題解決のアプローチを用いる (4) 人間の意思決定の特性を知る (5) 行動変容を促す多様な方法	
6	疫学概論	
1	疫学がなぜ公衆衛生看護に必要か	108
	(1) 疫学の定義 (2) 疫学モデル (3) 疫学的因果関係 (4) 因果関係を推定する5条件	
2	疫学の指標	110
	(1) 人口統計学的指標 (2) 比と比率と率 (3) 罹患率と死亡率 (4) 死亡率の調整(標準化) (5) 有病率	

3	疫学調査法	113
	(1) 曝露効果 (2) 調査手法の分類	
4	スクリーニング	117
	(1) スクリーニング基準と精度管理	
5	疫学と地域保健活動	119

第2章

地域保健活動のエレメント

I 地域保健活動過程と保健師活動

1 地域診断

1	地域診断の概念	123
	(1) 地域診断の定義 (2) 保健師が地域保健活動過程を実践する意義と目的	
2	地域保健活動の概観	124
3	地域保健活動に用いる理論と方法	125
	(1) 活用可能な理論 (2) 地域アセスメント項目 (3) 情報収集の方法	
4	情報の分析	135
	(1) 分析の意義 (2) 対象集団の把握 (3) 健康課題の抽出 (4) 課題の優先順位を決定するための視点 (5) 抽出した課題における要因の分析	

2 地域保健活動計画と保健師の役割

1	地域保健活動計画	144
	(1) 地域保健活動計画の意義 (2) 計画のための合意形成	
2	地域保健活動計画の作成	145
	(1) 活動計画作成の過程 (2) 計画の根拠と目的・目標の明確化 (3) 活動内容・方法の選定 (4) マンパワーと予算の確保 (5) 評価計画の作成	
3	地域保健活動計画のモニタリング・評価	148
	(1) 関係者との連絡・調整、計画の周知 (2) 事業の運営・モニタリング (3) 事業の評価 (4) 経済的評価 (5) 活動計画・事業計画と保健師の役割	

3 地方自治体における計画策定

1	保健福祉政策と保健師の役割	151
2	地方自治体とは	151
	(1) 地方自治体の区分 (2) 都道府県と市町村の関係 (3) 地方自治体の住民	
3	地方自治体における保健計画	152
	(1) 地域保健計画の位置づけ (2) 保健事業計画と保健師の役割 (3) 計画策定のプロセス (4) 計画策定への住民参加の促進 (5) 環境整備のための連携 (6) 保健計画の評価 [事例] 計画策定の実践例	

II 地域におけるグループ支援・地域組織活動

1 地域におけるグループ・地域組織と保健師

1	グループ・地域組織とは	160
2	地域にあるグループ・地域組織と保健師のかかわり	160

2 グループ・地域組織活動に用いる理論

1	グループダイナミクス	160
	(1) グループダイナミクスの定義・背景 (2) グループダイナミクスの3要素 (3) グループダイナミクスの力動的関係性の3つの特徴	
2	セルフヘルプグループ	162
	(1) セルフヘルプグループとは (2) セルフヘルプグループの特徴 (3) セルフヘルプグループの機能 (4) セルフヘルプグループと専門職の関係性	
3	コミュニティ・オーガニゼーション	163
	(1) コミュニティ・オーガニゼーションとは (2) コミュニティ・オーガニゼーションの分類 (3) 日本におけるコミュニティ・オーガニゼーションの歴史	

3 グループの支援

1	地域にあるグループ・地域組織の概要	164
2	グループ支援の意義	165
3	本人・家族の健康の維持・増進を主目的としたグループの特徴 (アセスメント項目)	165
	(1) 参加者 (2) グループの構造・機能 (3) 関係者 (4) 地域・行政との関係性	
4	保健師のグループ支援の特徴と留意点	167
5	グループの特徴をふまえた保健師のグループへのかかわりや支援	168
	(1) グループの成り立ちに応じた支援 (2) 発展段階に応じた支援 (3) リーダーシップ・メンバーシップに応じた支援	
6	グループ支援の評価	170
	(1) グループに所属する個人に対する評価 (2) グループの変化の評価	

4 地域組織活動

1	地域組織活動の概要	171
	(1) 地域組織活動の定義 (2) 地域組織活動の意義 (3) 地域組織の種類と特徴	
2	地域組織活動の展開プロセス	172
3	地域組織活動から地域づくりへ	173
4	地域組織活動における保健師活動	174
	(1) 地域組織に関する保健師の基本姿勢 (2) 保健師の地域組織へのかかわりや支援	

- III 地域ケアシステムの構築
 - 1 地域ケアシステムの概念
 - 1 地域ケアシステムとは 176
 - 2 保健師と地域ケアシステム 177
 - (1) 地域ケアシステムのあゆみ (2) 地域ケアシステムの種類 (3) 地域ケアシステムの必要性
 - 3 ネットワークと地域ケアシステム 178
 - 2 地域ケアシステムの構築に向けた展開
 - 1 地域ケアシステムの構成要素 178
 - 2 地域ケアシステムの構築の段階 178
 - (1) 第1段階 住民の健康問題とニーズ把握
 - (2) 第2段階 目的・目標の設定と計画策定
 - (3) 第3段階 チームづくり (4) 第4段階 システムづくり (5) 第5段階 継続的な発展と改善
 - 3 地域ケアシステムの評価 181
 - 3 地域ケアシステムの構築における保健師の役割 182
 - (1) 地域ニーズの把握とそれに基づく計画策定
 - (2) 関係者・関係機関への理解の促進とプレゼンテーション (3) 予算の獲得(予算化) (4) 効果的な会議運営 (5) 住民への啓発活動
 - 4 地域ケアシステムの施策・政策への発展 183

- IV 事業化・施策化
 - 1 事業化・施策化の必要性
 - 1 事業化・施策化とは 184
 - 2 保健師に事業化・施策化が求められる背景 184
 - 3 事業化・施策化における保健師の役割 184
 - 2 政策体系における政策、施策、事業の位置づけ 185
 - 3 事業化・施策化のプロセスにおいて留意すべきポイント
 - 1 PDCA サイクルをふまえた立案 186
 - 2 立案プロセスのおもなポイント 187

第 3 章

地域保健活動のツール

- I ケースマネジメント
 - 1 ケースマネジメントの目的・特性
 - 1 ケースマネジメントとは 193

- 2 保健師が行うケースマネジメントの意義 193
- 3 対象 193
- 2 ケースマネジメントの方法
 - 1 ケースマネジメントのプロセス 194
 - (1) 対象者の把握とスクリーニング (2) 対象者のアセスメント (3) 計画立案 (4) 計画の実施 (5) モニタリング (6) 再アセスメント・評価
 - 2 保健師が行うケースマネジメントの特徴 196
 - (1) 家族への支援 (2) 社会資源の活用 (3) サービスの調整と施策化
- 3 ケースマネジメントにおける関係機関との連携
 - 1 多職種連携 197
 - 2 チームアプローチ 197
 - 3 質保証のためのサービス提供者への支援 197
- 4 ケースマネジメントの評価
 - 1 支援計画の評価 198
 - 2 ケースマネジメントの質の評価 198
 - (1) 企画評価 (2) 実施評価 (3) 成果評価

II 家庭訪問

- 1 家庭訪問の目的・対象・技術
 - 1 家庭訪問の特性 199
 - (1) 保健師が行う家庭訪問の特徴 (2) 家庭訪問を行う意義
 - 2 家庭訪問の目的 202
 - (1) 対象者やその家族への生活支援を目的とした家庭訪問 (2) 健康危機管理のための家庭訪問 (3) 地域住民の健康問題解決を支援する家庭訪問
 - 3 家庭訪問の技術 202
 - (1) 初回訪問 (2) 継続訪問 (3) 拒否等への対応
- 2 家庭訪問のプロセス
 - 1 生活の場における情報収集と問題把握 203
 - 2 対象選定と優先順位 204
 - (1) 生命の危険が対象者および周囲の人々に及ぶ場合 (2) 健康問題の深刻化が予測される場合 (3) 家族の力量が弱い場合やキーパーソンが不在の場合
 - 3 訪問計画——訪問準備・実践 204
 - (1) 訪問計画 (2) 訪問準備 (3) 実践
 - 4 訪問記録・報告 207
 - (1) 記録の目的 (2) 記録の内容 (3) 記録票の保管 (4) 報告

5	評価	208
6	関係職種・機関や地域住民組織との連携	209

III 健康相談

1	健康相談の目的・対象・方法	
1	目的・対象	211
	(1) 目的 (2) 対象 (3) 健康相談の事業	
2	方法と特徴	211
	(1) 健康相談の契機 (2) 健康相談の方法・特徴	
2	健康相談のプロセス	
1	信頼関係の構築と情報収集	214
	(1) 信頼関係の構築 (2) 情報収集 (3) 相談内容と対象者の意思の明確化	
2	アセスメントと記録	215
	(1) アセスメントと支援 (2) 記録	
3	健康相談の企画・実施・評価	
1	企画	216
	(1) ニーズ把握 (2) 目的の明確化 (3) 目標の設定 (4) 予算	
2	実施	216
3	評価	217
	(1) ストラクチャー（構造）評価 (2) プロセス（過程）評価 (3) アウトプット（事業実施量）評価 (4) アウトカム（結果）評価	
4	健康相談から地域活動への展開	218

IV 健康教育

1	健康教育の目的・対象・技術	
1	目的・対象	219
	(1) 目的 (2) 対象	
2	健康教育に用いる基礎理論	219
	(1) KAP モデル (2) 保健信念モデル（ヘルスビリーフモデル） (3) プリシード・フレームワーク (4) プリシード・プロシードモデル (5) 社会的学習理論と自己効力感	
2	健康教育のプロセス	
1	健康教育の目標設定	222
2	健康教育と健康学習	223
	(1) 主体的な学習を援助する教育 (2) 地域保健活動における健康教育	
3	健康教育の方法	
1	企画	224
	(1) 企画書 (2) 企画時の検討項目	
2	実施	226
	(1) 実施のための計画書の作成 (2) 会場の設定 (3) 健康教育の媒体	

3	評価	227
	(1) ストラクチャー（構造）評価 (2) プロセス（過程）評価 (3) アウトプット（事業実施量）評価 (4) アウトカム（結果）評価 (5) 教育参加による効果測定をする際の方法	

V 健康診査

1	健康診査の定義・意義	
1	健康診査の定義	231
2	健康診査の意義	231
2	健康診査・検診の対象・方法	
1	おもな健康診査・検診	231
2	健康診査・検診の方法	232
	(1) 個別健康診査と集団健康診査（実施形態による分類） (2) 直営による運営と委託による運営（運営方法による分類）	
3	健康診査の展開過程と保健師の役割	
1	健康診査の企画・立案	233
	(1) アセスメント (2) 計画策定	
2	健康診査の参加勧奨・実施準備	233
	(1) 参加勧奨 (2) 実施準備	
3	健康診査の実施	235
	(1) 問診 (2) 計測 (3) 健康相談 (4) 事後カンファレンス (5) 全体を通しての留意事項	
4	健康診査のフォローアップ	236
	(1) 健康診査受診者へのフォローアップ (2) 健康診査未受診者へのフォローアップ	
5	健康診査の評価と地域保健活動への反映	237
4	健康診査を展開するうえでのその他の留意点	
1	情報管理	238
2	安全への配慮	238
3	検査（スクリーニング）の精度管理	239
5	今後の健康診査の方向性	239

第4章

地域保健の対象アプローチ

I 発達段階と保健活動

1	個人および家族の発達段階と保健活動	
1	各発達段階における課題	244
	(1) ハヴィガーストの発達理論 (2) エリクソンの自我発達理論	

2	ライフサイクルの6段階と保健活動	246	2	子ども・子育て支援新制度	272
	(1) 乳幼児期 (2) 学童期 (3) 思春期 (4) 青年期 (5) 成人期 (6) 老年期		4	母子保健活動の実際	
2	家族の理解		1	妊産婦の健康と保健指導	273
1	家族システム理論	249		(1) ハイリスク妊娠 (2) 特定妊婦 (3) 多胎妊娠 (4) 出生前検査 (5) マタニティブルー・産後うつ病	
2	家族ストレス対処理論	249	2	乳幼児の健康と保健指導	274
3	家族アセスメント	250		(1) 乳幼児の成長発達と保健指導 (2) 生活習慣と健康課題	
3	家族の発達段階と保健活動		3	児童虐待防止に向けた保健指導	275
1	家族の発達段階と課題	251		(1) 児童虐待の定義と種類 (2) 児童虐待の現状 (3) 児童虐待防止対策の進展 (4) 児童虐待のリスクと保健師の支援	
	(1) 家族の発達段階 (2) 家族の発達課題と健康課題		5	健康課題をもつ母子への保健指導	
2	家族の発達段階と保健師活動	252	1	育児力の弱い家族への支援	277
	(1) 婚前期 (2) 新婚期 (3) 養育期 (4) 教育期 (5) 排出期 (6) 老年期 (7) 孤老期		2	障害児・医療的ケア児への支援	278
→ II	母子保健活動		3	発達障害児への支援	278
1	母子保健概論		4	在留外国人母子への支援	279
1	母子保健の理念	255	5	孤立した母子への支援	279
2	母子保健にかかわるおもな統計指標	255	→ III	成人保健活動	
	(1) 出生数・出生率 (2) 合計特殊出生率 (3) 乳児死亡率 (4) 新生児死亡率・早期新生児死亡率 (5) 周産期死亡率 (6) 妊産婦死亡率 (7) 死産率		1	成人保健概論	
3	母子保健活動の変遷	257	1	成人保健の理念	281
	(1) 妊産婦・乳幼児死亡率の高い時代の母子保健 (2) 戦後の母子保健 (3) 少子化時代の母子保健 (4) 少子化加速時代の母子保健		2	成人保健の動向	282
2	母子保健施策			(1) 成人保健の関連施策の変遷 (2) 成人保健の現状	
1	保健指導	262	2	成人保健施策	
	(1) 妊娠の届出と母子健康手帳交付 (2) 妊産婦・乳幼児保健指導 (3) 母子保健法に基づく訪問指導 (4) 児童福祉法に基づく訪問事業 (5) 生涯を通じた女性の健康支援		1	高齢者医療確保法における生活習慣病対策	285
2	健康診査	265	2	健康増進法	285
	(1) 妊婦健康診査 (2) 産婦健康診査 (3) 乳幼児健康診査 (4) 先天性代謝異常等検査 (5) 新生児聴覚検査 (6) HTLV-1 母子感染予防対策 (7) B型肝炎母子感染防止事業		3	健康日本21(第三次)の基本的な方向と目標	286
3	乳幼児・児童の療養護	268	3	成人保健活動の実際	
	(1) 未熟児養育医療 (2) 小児慢性特定疾病医療費助成 (3) 自立支援医療(育成医療) (4) 結核児童に対する療育の給付		1	健康増進事業	286
4	妊娠・出産包括支援事業	270	2	成人期における保健師活動	286
	(1) こども家庭センター (2) 産前・産後サポート事業 (3) 産後ケア事業			(1) 対象者のセルフケア能力の向上(一次予防) (2) 健康診査活動等を通じた健康度評価と適切な医療への橋渡し(二次予防) (3) 健康障害の進行防止(三次予防) (4) ゼロ次予防 (5) 事業評価と社会資源の整備	
3	母子保健計画と主要施策		3	特定健康診査・特定保健指導	291
1	健やか親子21	271		(1) 内臓脂肪型肥満に着目した早期介入・行動変容 (2) データヘルス計画 (3) 予防・健康づくりの取組みに対するインセンティブ制度 (4) 評価	
			4	健康づくりと地域ヘルスケアシステム	295

4 成人期のおもな生活習慣病と保健指導	
1 メタボリックシンドローム	295
(1) メタボリックシンドロームとは (2) メタボリックシンドロームの保健指導	
2 高血圧	299
(1) 高血圧とは (2) 高血圧の保健指導	
3 糖尿病	300
(1) 糖尿病とは (2) 糖尿病の保健指導	
4 慢性腎臓病 (CKD)	301
(1) 慢性腎臓病 (CKD) とは (2) 慢性腎臓病 (CKD) の保健指導	
5 脂質異常症	302
(1) 脂質異常症 (高脂血症) とは (2) 脂質異常症の保健指導	
6 骨粗鬆症	303
(1) 骨粗鬆症とは (2) 骨粗鬆症の保健指導	
7 悪性新生物	304
(1) 悪性新生物 (がん) による死亡の実態 (2) 悪性新生物 (がん) の患者数・罹患率 (3) がん対策基本法とがん登録の推進と結果の活用 (4) 悪性新生物 (がん) の原因と危険因子 (5) 悪性新生物 (がん) の保健指導	
8 成人期におけるメンタルヘルス	307

IV 高齢者保健活動

1 高齢者保健概論	
1 高齢者保健活動の理念	308
2 高齢者保健医療福祉の変遷	308
(1) 老人福祉法の制定と老人医療費支給制度 (2) 老人保健法の制定と老人保健施設の創設 (3) ゴールドプランと新ゴールドプラン (4) 介護保険制度とゴールドプラン 21：地域包括ケアシステムの推進へ (5) 老人保健法から高齢者医療確保法へ	
3 高齢者保健の現状	311
(1) 高齢化の状況 (2) 高齢者と家族の現状 (3) 高齢者の生活と経済の状況	
2 高齢者保健施策	
1 介護保険制度	312
(1) 市町村における地域支援事業 (2) 地域包括支援センター (3) 地域包括ケアシステム (4) 介護保険制度と保健師の役割	
2 後期高齢者医療制度	318
3 高齢者保健活動の実際	
1 高齢者の健康と生活特性	319
(1) 高齢者の健康状態 (2) 高齢者の生活を重視したアセスメントの視点 (3) 高齢者の健康と生活における支援のポイント	

2 高齢者の疾病予防と地域環境づくり	323
(1) 高齢者のおもな疾病の予防 (2) 安全で安心して生活できる地域環境づくり	

4 要支援・要介護高齢者および介護者の特性と保健師活動

1 要支援・要介護高齢者と介護者の現状	324
(1) 要支援・要介護者の割合 (2) 地域包括支援センターと保健師 (3) 介護する家族への支援	
2 認知症高齢者と家族の特性と保健師活動	325
(1) 認知症の理解 (2) 認知症高齢者と家族の状況 (3) 認知症高齢者と家族への支援	
3 高齢者虐待防止と保健師活動	329
(1) 高齢者虐待防止ネットワークの構築 (2) 高齢者虐待の防止・早期発見のための取組み (3) 養護者 (家族等) への支援	

V 難病保健活動

1 難病保健概論	
1 難病対策の始まり	332
2 難病対策要綱による支援施策	332
3 難病法施行と現在までの流れ	333
(1) 調査研究の推進 (2) 指定難病医療費助成制度 (3) 医療提供体制 (4) 患者支援体制	
4 難病保健施策	335
5 難病対策に関係するそのほかの法律・制度	336
2 難病保健活動の実際	
1 保健師が行う難病事業	336
2 個別支援	337
(1) 個別支援の対象者 (2) 支援対象者の把握経路とその際の留意点 (3) 個別支援の流れ (4) 保健師が行う支援のポイント	
3 地域活動：個別支援の蓄積から地域ケア体制の構築	340
(1) 難病に関する知識の普及・啓発 (2) 地域支援者の人材育成 (3) 難病の地域診断 (4) 地域ケア体制づくり：難病対策地域協議会	
4 難病療養者の安全管理	342
(1) 医療依存度の高い難病患者の安全管理 (2) 災害対策	
VI 障害者(児)保健活動	
1 障害者(児)保健概論	
1 障害者保健の理念	344
2 障害の概念	345
(1) 国際障害分類と国際生活機能分類 (2) 障害者の法律上の定義	

2 障害者(児)保健施策	
1 障害者(児)保健施策の変遷	347
(1) 戦後の障害者(児)施策 (2) 国連・障害者の10年とノーマライゼーション (3) 障害者基本計画 (4) 障害者総合支援法への経緯	
2 障害者(児)保健施策	351
(1) 障害者(児)のための法律と制度 (2) 障害者(児)施策 (3) 身体障害者施策 (4) 支援費制度から障害者自立支援法へ (5) 障害者総合支援法 (6) 発達障害者支援法 (7) 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律	
3 障害者(児)の生活特性と自立支援	
1 障害者(児)の生活特性	355
(1) 地域生活支援 (2) 国際生活機能分類(ICF)を基盤にした理解	
2 障害児への保健師活動	356
(1) 障害の予防や受容への支援 (2) 早期発見・早期治療 (3) 障害児・家族への保健活動 (4) グループづくり (5) 地域における保健・医療・福祉、教育のシステムづくり	
3 障害者への保健師活動	358
(1) 原因疾患予防 (2) 自立生活の支援 (3) 就労支援 (4) 障害者を支える人材の育成 (5) 社会参加の促進 (6) 住環境・地域環境整備	
4 発達障害	362
(1) 発達障害者支援法に基づく支援 (2) 発達障害の種類 (3) 発達障害児・者への保健指導上の注意点	
→ VII 精神保健活動	
1 精神保健概論	
1 心の健康と精神保健福祉	364
(1) 心の健康とは (2) 精神疾患とは	
2 精神保健の基本理念	365
3 精神保健福祉施策の変遷	366
(1) 精神病患者監護法から入院医療中心の治療体制へ (2) 精神科病院から社会復帰施設へ (3) 社会復帰施設から地域社会へ (4) 地域社会における共生の実現へ (5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (6) 心の健康づくり	
4 精神保健に関する施策・制度	369
(1) 精神保健福祉活動の基盤となる法律 (2) 精神障害者に対する医療 (3) 精神保健福祉に関する機関	
2 精神保健福祉活動の実際	
1 精神疾患を有する対象の特徴	375
(1) 精神疾患の特徴 (2) 精神疾患の課題	
2 個人・家族を対象とする個別支援	376
(1) 治療開始に向けた支援 (2) 入院中・退院に向けた支援 (3) 治療継続のための支援 (4) 社会復帰のための支援	
3 精神保健福祉活動におけるグループ・組織化活動	378
4 地域社会での精神保健福祉活動	378
(1) ハイリスク者の早期発見 (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 (3) 地域における社会資源の創出 (4) 精神障害者の人権を守る精神保健福祉活動	
3 地域におけるおもな精神疾患と保健師活動	
1 統合失調症	381
2 うつ病	381
3 双極性障害	382
4 若年性認知症	382
5 依存症および嗜癖	383
(1) アルコール依存症 (2) 薬物依存 (3) 嗜癖	
6 パーソナリティ障害	384
4 社会生活における精神的課題	
1 自殺	385
(1) 自殺関連行動を起こす人への対応 (2) 地域、職域、学校における自殺の予防・高リスク者の早期発見の活動 (3) 自死遺族へのケア	
2 社会的ひきこもり	386
→ VIII 感染症保健活動	
1 感染症保健概論	
1 感染症保健活動の理念・変遷	387
2 感染症施策の沿革	387
3 感染症保健活動の枠組み	389
(1) 感染症の類型別の対策 (2) 事前対応型行政の構築 (3) 患者等の人権への配慮	
4 感染症のモニタリングと最近の動向	391
(1) 感染症発生動向調査 (2) おもな感染症の最近の動向	
5 感染症における疫学的視点	393
(1) 感染の発生要因 (2) 流行調査	
2 感染症にかかわる保健師活動	
1 平常時の活動	396
(1) 感染症発生動向の把握(サーベイランス) (2) 感染症にかかわる情報の提供・健康教育・相談指導等 (3) 地域の医療機関との連携 (4) 予防接種	
2 感染症発生時の活動	400
(1) 感染症発生時の対応 (2) 感染症の拡大防止のための指導	
3 パンデミック発生時の保健師活動	402

3 おもな感染症と保健師活動	
1 HIV 感染症・AIDS、性感染症	402
(1) HIV 感染症・AIDS (2) 性感染症 (STD)	
2 新興・再興感染症	404
(1) 新型インフルエンザ (2) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) (3) エボラ出血熱 (4) 中東呼吸器症候群 (MERS) (5) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (6) 蚊媒感染症	
3 ウイルス性肝炎	408
(1) B 型肝炎 (2) C 型肝炎	
4 麻しん、風しん	409
(1) 麻しん (2) 風しん	
5 食中毒	410
(1) 腸管出血性大腸菌感染症 (2) A 型肝炎、E 型肝炎	
4 結核対策における保健師活動	
1 結核発生の動向	411
2 患者教育に必要な結核の基礎知識	412
(1) 感染 (2) 発病 (3) 肺結核のおもな症状と発症時期 (4) 検査方法 (5) 治療	
3 わが国の結核対策	414
(1) 結核対策のあゆみ (2) 結核対策の概要と保健所の業務 (3) 結核登録者情報システム	
4 早期発見対策の基本——集团的アプローチから個別のアプローチへ	416
(1) 発病予防：BCG ワクチン接種の徹底と潜在性結核感染症への対応 (2) 早期発見：集団健康診断から選択的健康診断 (接触者健康診断)	
5 集団感染発生時の対策	419
(1) 集団感染の定義 (2) どのような場合に集団感染対策を考慮すべきか (3) 接触者健康診断の実施 (4) 結核分子疫学調査	
6 結核対策における保健師の役割	422
(1) 結核対策における保健師の役割 (2) 結核保健指導の基本 (3) 家族の保健指導 (4) 結核の保健師活動の重要性 (5) 初回面接の重要性 (6) 結核統計の見方	
7 日本版 21 世紀型 DOTS 戦略	425
(1) DOTS 対象者 (2) DOTS 戦略の種類 (3) DOTS カンファレンス (4) 地域 DOTS (5) コホート検討会 (6) 質の高い結核対策を実施するために	

IX 歯科口腔保健活動

1 歯科口腔保健概論	
1 歯科口腔保健の理念	431
2 歯科口腔保健施策の変遷	431
(1) 対象別歯科保健施策 (2) 総合的な歯科保健施策	

3 歯科口腔保健の現状	433
2 歯科口腔保健における保健師活動	
1 生涯を通じた歯科口腔保健活動	435
(1) 自己管理 (セルフケア) 能力の向上 (2) 保健・医療の専門家による支援と定期管理 (プロフェッショナルケア) (3) 保健所等による情報管理と普及啓発の推進 (コミュニティケア)	
2 ライフステージ別歯科口腔保健活動	436
(1) 妊娠期の歯科口腔保健 (2) 乳幼児期の歯科口腔保健 (3) 学齢期の歯科口腔保健 (4) 成人・高齢者の歯科口腔保健	
3 とくに配慮が必要な人に対する歯科口腔保健活動	439
(1) 要介護者の歯科口腔保健 (2) 障害者 (児) に対する歯科口腔保健	

第 5 章 健康危機管理

I 健康危機管理

1 健康危機管理の定義と現状	
1 健康危機管理の定義	443
2 健康危機管理の現状	443
3 健康危機管理システムと保健所の役割	444
4 健康危機管理におけるリスクマネジメント	446
(1) リスクマネジメントの過程 (2) リスクコミュニケーション (3) 事業継続計画 (BCP)	
5 健康危機管理と保健師活動	448
(1) 平常時の備え (2) 健康危機発生時の対応 (3) 地域住民への支援	

II 災害保健活動

1 災害保健概論	
1 災害の定義と分類	451
2 災害保健活動の目的	451
3 災害保健施策	452
(1) 災害対策の変遷 (2) 災害発生時の体制づくり (3) 災害に関する社会資源	
2 災害と保健師活動	
1 平常時の災害予防対策と保健師活動	454
(1) 地域の実態把握 (2) 住民の把握 (3) 住民への啓発活動 (4) 災害対策マニュアル (5) 教育普及啓発・防災リーダーの育成 (6) 救援・支援ネットワーク	

2	災害時の保健師活動	458	5	救急処置	483
	(1) 緊急対策期（フェーズ0・1）の保健師活動		6	保健教育	485
	(2) 応急対策期（フェーズ2・3）の保健師活動		7	障害のある児童生徒への対応	485
3	災害復旧・復興期の保健師活動	462	5	おもな健康課題と養護教諭の活動	
	(1) 復旧・復興対策期（フェーズ4）の保健師活動		1	むし歯・近視・肥満	486
	(2) 復興支援期（フェーズ5-1・5-2）の保健師活動		2	不登校と保健室登校	486
	(3) 復旧・復興対策期、復興支援期の特徴的な健康問題と保健師活動		3	いじめ	486
4	集中豪雨と保健師活動	464	4	人工妊娠中絶と性感染症	487
	(1) 集中豪雨と災害 (2) 豪雨災害と保健師活動		5	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	487
5	津波と保健師活動	465	6	学校環境衛生	
	(1) 津波と災害 (2) 津波被害を受けた住民への保健師活動		1	環境管理	488
6	放射線被曝と保健師活動	466	2	環境教育	489
	(1) 放射線・放射能と単位 (2) 人体への影響		7	地域保健・産業保健との連携	489
	(3) 放射線防護について (4) 放射線による汚染地域での保健師活動		II	産業保健	
	[インタビュー] 福島第一原子力発電所事故と保健師活動		1	産業保健の概念	

第6章

生活集団と保健活動

I 学校保健

1 学校保健の理念

1	学校保健の定義・目的	475
2	学校保健の場と対象	475

2 学校保健の歴史と現状

1	学校衛生から学校保健へ	475
2	学校保健から学校保健安全へ	476

3 学校保健制度とシステム

1	学校保健行政	477
2	学校保健組織と人材	477
	(1) 学校保健委員会 (2) 保健主事・養護教諭・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	
3	学校保健活動のしくみ	478
	(1) 学校保健計画 (2) 保健教育と保健管理 (3) 学校給食と食育 (4) 安全教育・安全管理	

4 養護教諭の職務内容

1	保健室の機能と保健室経営	480
2	健康診断と事後措置	481
3	健康相談と保健指導	481
4	感染症の予防・対策	481

II 産業保健

1 産業保健の概念

1	産業保健の定義・目的	491
2	産業保健の対象	491

2 産業保健の変遷

1	19世紀半ばまでの諸外国	492
2	わが国の労働衛生の変遷	492

3 わが国の産業保健の現状

1	労働力人口と産業構造	494
2	労働災害、業務上疾病の現状	494
	(1) 労働災害 (2) 業務上疾病 (3) 健康診断の状況	

4 産業保健制度とシステム

1	労働安全衛生関係法規	495
	(1) 労働基準法 (2) 労働安全衛生法 (3) 男女雇用機会均等法	
2	労働安全に関する制度	498
3	事業場内の安全衛生管理体制と活動	498
	(1) 労働安全衛生にかかわる人材 (2) 委員会の設置と運営	

4	地域における産業保健推進支援体制	500
	(1) 産業保健総合支援センター (2) 地域窓口（地域産業保健センター）	

5 産業活動にともなう健康問題

1	職業病	501
2	作業関連疾患	503
3	過重労働による健康障害	503
4	メンタルヘルス	503

6 労働安全衛生管理と保健師活動	
1 労働安全衛生管理の基本	504
2 産業保健における保健師活動	505
(1) 産業保健計画と評価 (2) 保健師の活動	
3 職域の健康問題と保健指導	507
(1) 業務に危険をともなう職種への保健指導	
(2) デスクワークが中心となる職種への保健指導	
(3) 技術革新と効率化が進む職種への保健指導	
(4) 対人業務が中心となる職種への保健指導	
(5) 過重労働に対する保健指導 (6) メンタルヘルスケアとしての保健指導 (7) ハラスメント対策	
7 産業保健の課題	
1 トータル・ヘルスプロモーション・プランの推進	509
2 ワーク・ライフ・バランス	509
3 職場における母性保健活動	510
4 高齢労働者の保健活動	511
5 障害者雇用にとまなう保健活動	511
6 小規模事業場への保健活動	511
7 外国人労働者への保健活動	512
8 海外駐在日本人労働者の保健活動	512
9 地域保健との連携	512
(1) 地域・職域連携の現状と課題 (2) 地域・職域連携推進協議会の設置	

第7章

公衆衛生看護管理

1 公衆衛生看護管理	
1 公衆衛生看護管理の目的と機能	
1 公衆衛生看護管理とは	519
2 公衆衛生看護管理の特徴	519
3 公衆衛生看護管理におけるリーダーシップ・メンバーシップ	520
2 公衆衛生看護管理の対象	
1 組織運営・管理	520
(1) 組織の理念・目標の明確化と共有 (2) 組織の構成と指揮命令系統 (3) 他部門との連携・協働	
2 人事・労務管理	521
(1) 人事管理 (2) 労務管理	
3 予算管理	523
(1) 予算編成と獲得 (2) 予算の執行管理と評価	

4 情報管理	524
(1) 公衆衛生看護活動にかかわる情報 (2) 個人情報管理 (3) インフォームド・コンセント、情報公開 (4) 保健師に必要な情報管理	
5 業務管理	525
(1) 業務量の管理 (2) 業務計画の管理 (3) 業務委託(アウトソーシング)の管理	
6 地域ケアの質の管理	527
(1) サービスの質の評価・改善 (2) サービスの継続性、包括性の管理 (3) 社会資源の開発と管理	
7 リスク管理	528
(1) 保健師が原因となるリスク (2) 保健師が受けるリスク	
3 これからの公衆衛生看護管理	
1 統括保健師	528
2 保健師管理者に求められるもの	529
II 継続教育・専門的自律	
1 専門職としての責務と成長	
1 保健師におけるキャリア発達とは	530
2 時代の変化と求められる能力	530
3 保健師のキャリアラダー	532
(1) 基礎教育期 (2) 新任期 (3) 中堅期 (4) 熟達期 (5) 管理期	
2 継続教育	
1 継続教育	533
2 現任教育	534
(1) 目的と方法 (2) 職場における教育の体制	
3 大学院への進学	535
3 自己開発と研究	
1 キャリアにおける自己開発	536
2 研究の活用と実践的研究の実施	536

第8章

保健師活動の展望

1 保健師の活動と倫理的問題	
1 倫理とは	
1 実践の場における倫理的問題	539
2 規範倫理と道徳	539
2 倫理的意思決定のための方法	
1 倫理的問題の明確化	540
2 事例分析の方法	541

3	保健師活動をめぐる倫理的問題	
1	個人情報保護と保健師の活動	542
2	人を対象とする研究における倫理	543
II	国際保健の現状と課題	
1	国際保健とは	
1	国際保健のためのコンピテンシー	548
2	国際保健活動の場	548
3	国際保健の使命：格差の改善	549
4	国際保健の担い手	551
5	持続可能な開発目標（SDGs）	552
6	日本の国際保健：ODAに注目して	553
2	地域活動に役立つグローバルな視点	554
3	国際保健にかかわる保健師活動	
1	対象国や活動地域を知るための 情報収集	555
2	プライマリヘルスケアの原則	556
3	コミュニケーション能力	556
4	多様な文化への理解と適応	556
III	これからの保健師活動を考える	
1	保健師を取り巻く状況	
1	保健師が輝く時代	558
2	保健師活動の原点	558
3	期待される活動内容	559
4	変貌する行政	559
2	保健師活動の方向性—地域住民主体の 日本型保健師活動の構築を	560
	引用・参考文献	561
	保健師必携法令集（抜粋）	
	Index	

Column

公衆衛生看護の母 リリアン・ウォルド	45
PDCA か PDSA か—保健事業での活用を考える	66
保健師による事業化—ひきこもり者・家族の 支援に向けて	189
ヤングケアラー—隠れたケアラーたち	280
高齢者と喫茶店文化	331
COVID-19 パンデミックの保健活動や 保健師への影響	430
能登半島地震における被災地への 保健師派遣調整の実際	472
健康経営の薦め	514
国際保健の活動—取り残されがちな人々が 社会で大切にされるために	557